

様式（評価機構フォーマット版）

2021 年度 自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

評価対象期間 自：2021年4月1日
至：2022年3月31日

評価基準日 2022年3月1日

学校法人イーエスピー学園
専門学校ESPエンタテインメント東京

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援.....	22
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-16 就職等進路.....	23
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-17 中途退学への対応.....	24
基準2 学校運営.....	4	5-18 学生相談.....	25
2-2 運営方針.....	5	5-19 学生生活.....	26
2-3 事業計画.....	6	5-20 保護者との連携.....	28
2-4 運営組織.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	29
2-5 人事・給与制度.....	8	基準6 教育環境.....	30
2-6 意思決定システム.....	9	6-22 施設・設備等.....	31
2-7 情報システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	32
基準3 教育活動.....	11	6-24 防災・安全管理.....	33
3-8 目標の設定.....	12	基準7 学生の募集と受入れ.....	34
3-9 教育方法・評価等.....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	35
3-10 成績評価・単位認定等.....	15	7-26 入学選考.....	36
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	16	7-27 学納金.....	37
3-12 教員・教員組織.....	17	基準8 財務.....	38
基準4 学修成果.....	18	8-28 財務基盤.....	39
4-13 就職率.....	19	8-29 予算・収支計画.....	40
4-14 資格・免許の取得率.....	20	8-30 監査.....	41
4-15 卒業生の社会的評価.....	21	8-31 財務情報の公開.....	42

基準 9 法令等の遵守	43
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	44
9-33 個人情報保護.....	45
9-34 学校評価.....	46
9-35 教育情報の公開.....	47
基準 10 社会貢献・地域貢献	48
10-36 社会貢献・地域貢献.....	49
10-37 ボランティア活動.....	50

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	2021 年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>【建学の精神】 音楽・楽器を創造することを通じて豊かな人格を形成し、さらに自己の可能性を追求する人材の育成。</p> <p>【教育の理念】 建学の精神に基づき、エンタテインメントおよび楽器に関する高度かつ最新の知識や技術を修得し、感動を創造できる人材の育成に力を注ぐ。</p> <p>【教育目的】 当学園は、学校教育法及び本学園の教育理念に基づき、エンタテインメントに関する知識や技術を授け、人格の涵養のもと、個性と可能性を大きく伸ばした人材を育成することを以って、文化の向上と社会の発展に貢献することを目的とする。</p>	<p>① 新型コロナ感染防止対策の徹底</p> <p>② 新型コロナの影響による新たな授業形態（オンライン授業や無観客イベントなど）の質の向上。</p> <p>③ 新型コロナウイルスの影響による退学者を減少させるための支援体制の充実</p>	<p>評価日現在まで、左記の①から③までの新型コロナウイルス感染症対策を実施し、学内におけるクラスターは発生しておりません。</p> <p>また、オンライン授業については基本的に対面授業を行っていた為、特別な措置は行っていません。</p> <p>昨年度は中止していたイベント関係については無観客でイベントを実施する事で、学生の学習の成果を発揮する場を設けることが出来ました。</p> <p>退学者についても、全く無いわけではありませんが、修学支援新制度（給付型奨学金、及び授業料等の減免）の実施におけるお知らせを、例年通りの掲示板だけではなく、本校ホームページでの告知や、各学生へ配布している G-Suite アカウントよりアクセスできるクラスルームへ展開する等、申込を失念することのない様取り計らうなど、経済面での支援体制を整え、感染対策指導や、ワクチン接種についての情報提供を行うことにより、新型コロナウイルス感染症の影響によるものは減少しております。</p>	<p>現状では、感染者についてオミクロン株の流行によって学内での感染者が報告されていますが、感染対策を実施することにより、クラスターの発生は防ぐことが出来ているものと認識しています。</p> <p>但し、学内での感染は防ぐことが出来ていても、学外での感染によって陽性者が発生しており、学生への感染を未然に防ぐ対応の告知はしておりますが、さらに徹底するよう指導を行って参ります。</p>

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>エンタテインメント業界の仕事は細分化が進んでおり、業界のニーズとしてその分野のスペシャリストであり、かつ現場での対応力をもった一定水準のジェネラリストでもある人材が求められている。そんな音楽業界からのニーズに対応するために、即戦力となりうる人材の輩出、及び業界をリードできる人材の育成に力を注いでいます。</p> <p>また画一的な人材輩出とならないよう、学生の希望に沿い、かつ個性を活かすために選択授業をカリキュラムに備えています。</p> <p>入学適齢人口は年々減少し、同系学校間に関わらず大学とも競合する時代となっていることから、今後は学生確保の意味からも時代に即応したカリキュラムや、新しい学習システムの導入などに努めることが大切と考えております。</p>	<p>【教育の理念】 建学の精神に基づき、エンタテインメントに関する高度かつ最新の知識や技術を修得し、感動を創造できる人材の育成に力を注ぐ。</p> <p>【目的】 当学園は、学校教育法及び本学園の教育理念に基づき、エンタテインメントに関する知識や技術を授け、人格の涵養のもと、個性と可能性を大きく伸ばした人材を育成することを以って、文化の向上と社会の発展に貢献することを目的とする。</p> <p>【育成人材像】 感動を創造できる人材を育成する。それは以下のような人材像である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 好奇心を持ち続け、常に課題（テーマ）を見つけ、解決することができる人材 2. 初心を忘れず、常に目標（夢）を持ち、達成し続ける人材。 3. コミュニケーションをとり、仲間と仕事をやり遂げることができる人材。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	建学の精神に則った教育理念・目的・育成人材像は定められており、エンタテインメント業界の発展に寄与できるものとする。	建学の精神、教育の理念についてはホームページやパンフレットへの掲載を行うことで、対外的にも周知がされている。	理念・目的・育成人材像等の明確化は完了しており、今後も理念等に沿って教育活動を行っていく。	学校ホームページ 学校パンフレット
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	業界のニーズを設立母体である世界的楽器メーカー(株)ESP、キャリアサポートセクション、講師からの情報、及び教育課程編成委員会による外部の意見と照らし合わせを行っている。	当校の講師は現役の業界人で構成されており、授業計画はその講師の意見も反映して作成されている。また教育課程編成委員会による外部の意見を取り入れていることから、適合していると判断する。	課題は特になし。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	エンタテインメント業界への人材輩出を使命とする当校は学科・コース全体がエンタテインメント業界の縮図でもある。	エンタテインメント業界におけるニーズに対応するため、7学科 29 コースを用意しており、選択授業によって個々の希望に対応。	芸能タレント科について、系列校の同分野の学科名が「声優芸能科」である為、2023年度より学科名変更を行い、進学希望者への訴求効果を高める。	学校ホームページ 学校パンフレット
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	エンタテインメント業界のニーズを把握した上で、中・長期計画を策定すべきである。	中・長期計画にて規定している。今後は外部関連業界の方々の意見も取り入れて計画を策定していく。	中・長期計画の教職員、学生、保護者等への周知は行っておらず、今後行うべきと考える。	中・長期計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
大項目総括に同じ。	大項目総括に同じ。

最終更新日付	2021年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校教育法、専修学校設置基準、各種法令、及び本学園の運営方針に基づいて運営されています。</p> <p>また、各種規程の再整備等行っており、今後も継続して整備を行って参ります。</p> <p>今年度も新型コロナウイルス感染症拡大がありましたが、各イベントは基本的に無観客、オンライン配信による感染リスクを考慮した実施形態となりました。また、昨年度に引き続き感染リスクを考慮した結果、学園祭や海外研修は中止となりました。</p> <p>尚、パーテーションの設置や学科・コースイベントの無観客、オンライン配信等、感染対策を確りと行うことで、本校におけるクラスター発生はなく、感染症対策は確りとされていたものと認識しています。</p>	<p>世界的ギター製作メーカー(株)ESPを設立母体としており、ギター製作の職人がもっと必要となったため、1983年にギタークラフトマン、リペアマン養成を目的とする日本ギター製作学院を設立し、現在の学校法人イーエスピー学園へつながっています。</p> <p>現在ではエンタテインメント業界のニーズにより楽器製作のみならず、演奏、運営スタッフ等の人材育成にも幅を広げており、本学は学校法人イーエスピー学園の本校としてエンタテインメント業界の縮図を内包しています。</p> <p>また、ギター製作メーカー(株)ESPというエンタテインメント企業が設立母体のエンタテインメントの学校だからこそ業界との距離が近く、講師も業界の一線で活躍するプロであり、演習もSUMMER SONIC やFUJI ROCKを代表とする大型ライブフェスや、学校法人イーエスピー学園が主催するライブイベント等現場を体験、及び学生の内から企画・制作・出演に携わることが出来ます。</p> <p>さらに、姉妹校としてアメリカ・ハリウッドにある音楽学校MI (Musicians Institute) があり、本校在学中に1週間の海外研修を受けることが可能となっております。</p> <p>ROCK、エンタテインメントの本場であるハリウッドを体感できる貴重な機会を提供しています。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	<p>【運営方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念に基づき、講師、設備、カリキュラム等、教育環境の充実を図る。 ・学生との緊密な関係を築いていくために最大限の支援体制を構築する。 	左記の通り運営方針を定めており、今後教職員全体に周知することで理念に沿った教育活動を行っていく。	<p>評価日現在では特に周知されていない。</p> <p>今後、周知することによって方針の教職員全体への浸透を図っていく。</p>	中・長期計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針の明確化は行われており、今後教職員全体に周知することで理念に沿った教育活動を行っていく。	エンタテインメント業界との繋がりを最大限に活かし、業界の第一線で活躍するプロであり、人格・教授力にも優れた人を講師として採用している。また、機材をはじめとした設備・備品等は業界でも現行で使用されているものや、最新のものまで整備し、将来学生がどの環境に行っても活躍できるよう努めている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	理事会において中・長期計画、及び単年度事業計画を検討、承認し、日々の業務へ落とし込む。	前年度の事業報告書からの反省点、改善点を検討し、中・長期計画、及び単年度事業計画を策定する。 そこで定めた目標を達成すべく日々の業務を行っている。	新規の計画等、想定外の事案がある場合には、予備費からの支出とし、実行可能な人材を調整し実施している。 定期的に進捗確認、見直しを行うよう図るべきと考える。	中・長期計画 単年度事業計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
評議員会、理事会において前年度の事業報告、及び次年度の事業計画の検討、承認を得て事業を適正に進めている。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	私立学校法等及び寄附行為に定めるところにより、理事会、評議員会を適切に運営する。	寄附行為で定めるところにより、理事会、評議会を開催、審議を行っており、議事録も作成、格納されている。	課題は特になし。	寄附行為、評議会議事録、理事会議事録
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校教育法、及び私立学校法に基づいて学校運営のための組織を整備する。	組織の設置は組織図等で整備・整理されている。 評議会、理事会での決議後に各学校長、学科責任者、事務局長等によって各学科教員、及び事務職員に周知が図られる。	課題は特になし。	組織図、業務分掌規程、各種規程・マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
組織運営については各種規程等整備されており、寄附行為に基づき適切に運営されている。	各科責任者、及び各部署責任者から部長への上申、フィードバックが容易な体制であり、案件によっては理事長への伝達も即時行われる。現場の意見、業界のニーズの運営への反映が迅速に行われている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	就業規則等によって明確化されており、適切に運用されている。	<p>人事部による選考、採用マニュアルによって運用されている。</p> <p>採用基準についても筆記試験による教養評価、2回の面接による人物評価によって教職員に相応しいと判断された者を採用している。</p> <p>尚、採用後、職員は試採用期間を設け、その中で各種業務に携わることで適性を見て、配属先を適宜判断している。</p> <p>また、賃金規程によって給与決定を明示しており、上長によるヒアリングを行うことで職員の意向も確認している。</p>	課題は特になし。	就業規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事・給与制度は就業規則等によって明示されており、採用に関してもマニュアル化しているため、適切に運用されている。 年に数回、上長によるヒアリングが行われ、本人の意向を伝える体制を執っている。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	組織図に基づき、各会議、及び教職員によって構成される委員会によって意思決定され、その決議を最終的に評議会、理事会によって承認される体制となっており、整備されていると考える。	財務等においては学園会議、教務等においては教務会によって調査依頼書、上申書を提出し、妥当か否かを各部長が審議し、理事長の決済をいただいている。 それぞれの会議には各学科責任者及び各所属長、教務会には学科責任者、及び各学科コース主任が出席する。	教務会等の会議を経て、学科責任者、各部署責任者の確認の上で上申等を各部長へ提出し、審議後に理事長の決済をいただいている。 週1回全体報告会を行い、議事録を教職員全員に共有することで周知を図っている。	組織規程 組織図 業務分掌規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園事業と学校事業、教務的事業等、意思決定はそれぞれにおいて行われるが、最終決定は理事長の承認を以ってされる。 それによって、理事会の関知しないところで事業が進むという弊害を防止されている。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	情報の流出等には十分に備え た上で各業務に必要な情報の 電子化等を行い、業務の効率化 を図るべきと考えている。	学生に関する情報管理及び 関連事務作業を同一のシステ ムを使用することによって効 率化が図られている。 学科の教員、及び教務職員に も同様のシステムによる管理 がされ、最新情報が随時閲覧可 能であり、学生指導において活 用されている。 また、上記システムは通常の インターネットからは隔離し て構築されている等、セキュリ ティー面については常時管理 している。 なお、卒業生データも全て電 子化し、同システムに統合され ている。	現在新しい学務情報システ ムを導入し、データ移行を行っ ている。 問題無く新システムへ移行 できたときには、情報管理シス テム運用規定を見直すことと する。	情報管理システム運用規程 個人情報取扱規定 G P A制度運用ガイドライン

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報システム化については個人情報の保護を常に念頭に置き、業務の効率化のために整備を進めている。	独自のネットワークを構築しており、外部からのアクセス等についてのリスクは非常に低いと考える。 また、U S Bメモリ等の差し込みも、学内専用のもの以外は禁止を徹底している。

最終更新日付

2022年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の目的でもある「個性と可能性を大きく伸ばした人材」の育成は、個性については選択科目によって本人の志向に沿う形で対応し、可能性については身に付ける知識や技術で将来の選択肢を広げることによって対応しています。</p> <p>そのためには常に業界との密接な関係を維持しつつ、業界のニーズを教育に反映することが必要と考え、毎年教育課程編成については外部の業界人に依頼してご意見をいただく事で見直しを行っています。</p> <p>尚、本校のキャリアサポートセクションにおける求人情報や、企業の採用担当者の方からのヒアリング等によってもニーズの把握を行っております。</p> <p>また、本校のライブ研修は有名フェスを実習の現場としており、実習が非常に充実していると自負しています。</p>	<p>様々なイベント（SUPER SONIC を代表とする大型ライブフェス等）に学生の中から参加し、業界の現場を体験することで、卒業後に現場に入ってもスムーズに業務が行える力を身に付けることが出来ます。</p> <p>さらに、エンタテインメント業界におけるニーズに対応出来る人材育成となるよう、各科目担当教員による絶対評価を採用しており、これによって業界の第一人者による客観的な評価によって能力が分かるようになっております。</p> <p>今年度は基本的に対面授業を行っており、オンライン授業については再び緊急事態宣言や、休校を要する事態等に備えています。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めている。	エンタテインメント業界の最新技術を学ぶ為に、業界の第一線で活躍している講師からのフィードバックを得て、カリキュラムを編成している。 また、実施にあたっては教育の質の水准确保のため、少人数制で教育を行っている。	方針については評議員会、理事会で承認されており、今後教職員全体に周知していく。	学校ホームページ 学校パンフレット 教育課程編成委員会規程
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	学科、コース毎の就業年限に応じ、教育到達レベルを設定している。	エンタテインメント業界における即戦力の輩出を目的の一つとしている以上、各分野における最低限必要とされるスキルは習得していなければならない、試験結果や日頃の授業内の評価において判断されている。	基本的にはそれぞれの科目において課題や試験を設け、その達成率や完成度によって評価している。 また、学科によっては独自のレベル検定制度を導入しており、教育到達レベルを一目で確認できる。	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程編成委員会規程の中で教育課程編成の基本方針を明確にしている。 また、キャリアサポートセクションによる求人情報や、企業の人事担当者からのヒアリング等も行っており、業界のニーズについては多角的に情報収集している。	学科によっては独自のレベル検定制度を導入しており、客観的に教育到達レベルを確認できる。 また、その他の学科も別途課題、試験等で教育到達レベルを教師が確認し、評価している。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	エンタテインメント業界のニーズに合わせてつつ、学生の個性・希望に沿った編成とする。	教育課程編成委員会の他、様々な情報を集約し、各学科内でカリキュラムが決定されており、それによってシラバスが作成されている。	教育課程編成委員会からのご意見や各情報を学科内(教務会)で検討し、決定しているが、議事録を取っていない。 来年度からは議事録を取り、適宜保管する。	教育課程編成委員会規程
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	外部の意見を取り入れていくことは、業界のニーズに合わせていく関係上不可欠であると考えている。	E S Pグループの全体会議や主任講師が参加する教務会、教育課程編成委員会によって外部の意見を聞く機会を設けている。	課題は特になし。	学校関係者評価委員会規程 教育課程編成委員会規程
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	専門学校として学生のキャリア発達における最も重要な役割を担うべく、体制に万全を期すべきと考える。	キャリアサポートセクションを設置しており、学生の就職へのサポート体制を構築している。 また、様々なサポートプログラムを設けており、キャリア教育の充実を図っている。	特に課題はなし。	学校ホームページ パンフレット

3-9-4 授業評価を実施しているか	授業評価を実施するべきと考えている。	卒業生に対するアンケートや主任講師、学科責任者によって評価を行っており、その結果を各講師へ伝え、授業の更なる質の向上を図っている。	卒業生に対する学生アンケートを今年度実施予定。	アンケートデータ
--------------------	--------------------	---	-------------------------	----------

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程編成については方針と共に教育課程編成委員会規程の中で定め、実施されている。</p> <p>また、教育課程編成にあたって、各学科における教育の目的、方針を明確化することで、現状の教育課程を見直し、更なる教育の質の向上を図っている。</p>	<p>今年度は基本的には効果の高い対面形式で授業を行っており、感染対策を実施した上で、更にリスクが見えたら休講措置を行うなど、本校においてクラスターの発生は無かったものと認識しており、学生もイベント関係についてはある程度制限を受けたが、無観客、且つオンライン配信で実施する等、去年と比較して教育に関する満足度は高いものと思われる。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	成績評価・終了認定基準、双方明確化するべきと考えている。	学則への規定は行われていないが、GPA 制度の導入を行い、成績評価基準を明確化し、客観的な指標の算出方法をHP等で公表している。	成績評価について、2020 年度から GPA 制度を導入し、運用している。 現2年生（2019 年度以前入学者）については混乱を避ける為、従来通りの評価基準を用いている。 2019 年度以前入学者が卒業したら、GPA 制度に統一される。	学則 客観的な指標の算出方法 GPA制度運用ガイドライン
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	キャリア発達にも直結する事案であり、また、成績評価にも反映されるため、成果の把握は確実に行われるべきと考えている。	年度末における学内のコンテスト、当学園主催のイベント出演、及び外部オーディションの状況等は常に情報収集を行い、把握に努めている。	課題は特になし。	学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
GPA 制度を 2020 年 4 月から導入しており、2019 年度以前の入学者の混乱を避ける為、今年度と来年度は GPA 制度と従来の評価方法との併用で運用している。	2019 年度以前の成績評価は A=85 点以上、B=70 点以上、C=60 点以上、D=60 点未満、E=履修放棄（A～C が合格、D、E を不合格）としている。 2020 年度以降の成績評価は S=90 点以上、A=80 点以上、B=70 点以上、C=60 点以上、D=60 点未満、E=履修放棄（S～C が合格、D、E を不合格）としている。 全科目が必修、または選択必修であるため、不合格科目が一つでもあると進級判定、又は修了認定が不可となる。

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	あくまで目標とするのみであり、教育課程上の必須項目とする予定はない。	取得可能な資格として各学科の授業によって各資格を明示しているが、資格取得が卒業要件として明確に位置付けてはいない。 しかし、現場で必須とされている資格、講習は実習・演習に参加する上で不可欠であり、全員取得している。	資格取得をカリキュラムに盛り込むことも検討されたが、それでは教育目的である個性の伸長に支障をきたす可能性がある為、今後も目標とするのみである。	学校パンフレット
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	学生の自主性に任せるが、指導体制としては整備しなければならないと考える。	各学科、コースの説明（ガイダンス等）にて授業を通じて取得可能な資格を説明し、授業内容+αとして自主学習を奨励している。 しかし、一部学科では資格取得に向けたプログラムが組まれているカリキュラムがある。	既存の授業時間内での資格取得のためのカリキュラムを組むことは困難であり、あくまで学生自身の自主性に任せる。 また、左記の一部学科についても、資格取得が卒業要件ではなく、卒業後の資格取得に向けた学習を奨励している。	学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
必須、または進級・卒業要件ではなく、現場に必須な資格・免許として取得を奨励しているが、教育課程（カリキュラム）上での明示はしておらず、あくまで授業内での指導に留まっている。	一部実習等への参加に必須の資格・免許等があり、授業内で取得するものもある。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	教職員選考・採用規程の中で教員の採用に関しては定められており、規程に従って、業界の第一線で活躍しており、教授力のある者を教員（講師）として採用する。	左記条件に該当し、且つ学校教育法上の欠格事由、並びに東京都暴力団排除条例等（反社排除）に定義される規制対象者に該当しないことを確認した者を面接等所定の審査を行う。	素晴らしい経歴、能力を持ちながら、専修学校設置基準で定められている教員の要件を満たさない等の事例がある。貴重な人材を逃すことのない様、教員の要件を満たすまでは「助手」として採用し、その後教員として採用している。	教職員選考・採用規程
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	専門学校として教員の資質の把握、及び向上は常に行われるべきと考えている。	卒業生へのアンケート、及び授業評価によるフィードバックによって実施されている。	卒業生へのアンケートは今年度も実施予定であり、主に不満点をヒアリングする形式となっているため、それを解消していくことで資質向上を行っていく。	アンケートデータ
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員の組織体制は都度見直しを行い、整備している。	学科責任者を筆頭に各コース主任、科目担当講師という体制である。 業務分担、責任体制は業務分掌規程によって明確にされている。	教務会の構成は学科責任者、各コース主任講師であり、主任講師は科目担当講師から適宜ヒアリングを行い、教務会に出席している。	業務分掌規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の確保は継続的に行われており、現状では特に支障はない。 特に卒業生へのアンケートは教員に対する評価として極めて重要であり、結果を十分に精査して、フィードバックを行っている。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>当校は、アーティスト（演者）を目指す学生の割合が多いため、卒業後の就職を考えていない、または就職活動を行わない学生が一定数おり、またアーティストとして活動を開始しても個人事業主となるため、学校全体の就職率という面では測り難いところです。</p> <p>しかし、就職を希望して就職活動を行っている学生へのサポート体制はキャリアサポートセクションを中心に十分に整備されており、今後も現状の方針を継続していく予定です。</p> <p>また、当学園は業界との緊密な関係を維持していること、及び卒業生も継続して当学園の各種サービスを受けることが可能なことから、卒業後も関わりを継続することが多く、卒業生との関わりも当学園の重要な運営方針でもあります。</p>	<p>左記の通り、アーティスト（演者）を目指す学生がおり、学校全体としての就職率という数字ではどうしても良い数値になりません。</p> <p>しかし、各オーディション情報は最新の情報を手に入れることができ、エンタテインメント業界関係者を招いた学内コンテスト等、本学独自のプレゼンテーションの機会、及び一般には公表されない求人情報等、エンタテインメント業界と密接な関係を維持してきた本学園の強みがあります。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	エンタテインメントの専門学校であり、特にアーティスト（演者）を目指している学生は就職活動自体をしない傾向である。 就職希望者へのサポートを万全にすべく体制の整備を行っている。	キャリアサポートセクションという学生就職用の部署を設置し、学生の就職サポートを行っている。 また、就職ガイダンスを1年生から行っており、就職を希望する場合のサポート体制は整備されている。	今年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、エンタテインメント業界全体で事業縮小傾向であり、求人数も昨年度よりは増加傾向であるが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると70%程度である。 しかし、昨年、コロナ禍前と比較しても今年度の内定者数は増加している。	学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
上記の通り、学校全体で見る就職率という点では、就職活動自体を行わない学生も一定数おり、一定の割合以上にはならない。 しかし、就職を希望し就職活動を行っている学生への体制は整備されており、当校で独自に集計している「キャリアサポートセクションを活用している学生の就職率」は満足できる数値である。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	<p>エンタテインメント業界で働く上で必須である資格については授業内での案内の上、各自の取得を奨励している。</p> <p>また、カリキュラム内、及び実習において必須の資格もあり、それらは授業内に取得出来る体制を採っている。</p> <p>運転免許は夏休み期間が短い為、合宿を案内。</p>	<p>エンタテインメント業界において資格の有無によって就職に大きな影響があることは少なく、現場での対応力が問われる。</p> <p>従って、資格取得のための授業を補完する学習支援はエンタテインメント業界からのニーズにも合っておらず、行っていない。</p> <p>但し、カリキュラム内、及び実習において必須な資格は授業内で取得可能となっている。</p>	<p>取得可能な資格の内、取得の難易度が高いもの（例：ピアノ調律技能士検定）もあり、授業内容で取得が可能ないように、教育過程の編成、講師の採用等教育環境の充実を図る。</p>	<p>学校ホームページ 学校パンフレット</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>基本的に資格等は全て個人の裁量によるが、カリキュラム内、及び実習において必須な資格については授業内で取得可能となっている。</p> <p>それ以外については申し込み等の手続代行や、質問があれば回答・教授するが、基本的には自己裁量となっている。</p>	<p>取得可能な資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ調律技能検定 ・コルグ消音ピアノ ・ユニット取付技術認定資格 ・AVID PT101 Pro Tools 基礎 I ・AVID PT110 Pro Tools 基礎 II ・JAPRS サウンドレコーディング技術認定試験 ・JAPRS Pro Tools 技術認定試験 ・JPPA 映像音響処理技術者資格認定試験 ・秘書検定 3級 ・JALED 舞台・テレビジョン照明技術者技能検定 2級 ・ビジネス著作権検定 初級 ・色彩検定 3級 ・足場の組立等作業従事者特別教育 等

最終更新日付

2022年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生との関係は当校にとって必要不可欠、且つ重要なものであると認識している。	キャリアサポートセクション、デビューサポートセクションによって卒業生のその後も把握されている。 また、卒業後本人へ訪問し、実態調査を行っている。	課題は特になし。	学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生との関わりを良好な状態で維持していくのは当学園の方針でもある。その中で一定の成果を上げて、所謂凱旋する卒業生もあり、今後もこの方針を維持していく。	卒業後にもキャリアサポート、デビューサポートセクションの利用が可能であり、卒業生に対するサポートも継続的に行っている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

基準 5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校として法令に定められている各種規程は定められており、また通常学校が整備すべき各種支援体制も整っております。</p> <p>留学生の在留資格変更等も支援しており、実績として留学生の日本国内への就職も数多くあります。</p> <p>経済面での支援も各種奨学金の案内や、学費納入についての個別対応等、他校と比較しても遜色のない体制です。</p>	<p>総合エンタテインメントの専門学校である当校において、デビューやそれに関連する活動に対する支援が手厚いものであると自負しております。</p> <p>また、エンタテインメント業界への就職情報も、一般に公表されていない独自の情報が多数あります。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	当校の学生が目指すのはデビューやエンタテインメント業界への就職であり、それぞれに専用部署を整備している。 今後も現状の体制を維持していく方針である。	学生支援課の内、デビューサポートセクション、キャリアサポートセクションがあり、それぞれデビュー、就職に関してサポート体制を構築している。	特になし。	組織図 業務分掌規程 学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
上記の通り、デビューサポートセクション、キャリアサポートセクションを設けて支援体制を整備している。 もちろん、全員が希望するままの就職先ではないが、ある程度希望に沿った進路を選んでいると考える。	デビューサポートセクション、キャリアサポートセクション共に卒業後も利用することが可能であり、在学中に希望する進路に就けなかった場合でも、卒業後に希望通りの進路となるケースも多々ある。 また、進路変更によって就職する場合のサポート体制も整備されている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	金銭面・精神面等、様々な事情による退学であるため、一概に退学率の低減を是とするのも難しい。 しかし、個別に事情をよくヒアリングし、状況に応じて最大限協力する体制をとる。	退学手続の際、必ず学科の教職員と話し合いの後に退学手続に移行する体制になっており、また手続の際、理由を記載してもらい、要因・傾向の把握に努めている。 また、前述の学生管理システムにより退学者数の把握は随時行われている。	コロナ禍に対する学生へのケアを確りと行っていくことで不安解消を図った。 しかし、最近の退学者の傾向としては本人の精神的な問題が多く見受けられた。 また、今年度については来校せずに(オンラインガイダンス等で)本校入学を決めた学生の、入学してからのギャップがあるとの声も聞こえており、学生の希望する進路を踏まえた上での相談を密にしていきたい。	退学者データ

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
中途退学は、上記の通り様々な事情によって発生するので、一概に低減を是とすることはできないが、出席率の低下、理解度の不足による進級・卒業不可については、日頃から講師によっての連絡、友人等を経由して出席を促す等対処は行っている。 近年ではクラブ活動も奨励し(クラブには必ず教職員の顧問が必要)、学生-教職員間、及び学生同士のコミュニケーションの向上を図る等試行錯誤しながら進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大によって部活動自体も制限が必要であったため、今年度については効果を計ることは困難である。	今年度については、コロナウイルス感染症拡大の影響による実習の制限は殆どなかったが、イベント関係については中止や規模の縮小等、エンタテインメント業界全体として自粛やリスク回避による事業縮小によって、エンタテインメント業界への進路に関して懸念を示す例がある。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	学校関係者には聞かれたくない、知られたくないという相談もあることを想定し、カウンセラーが複数所属している NPO へ委託している。	基本的に学校関連での相談がある場合には個別対応をしており、特に学内における選任職員は配置していない。 個人的な相談内容の場合、専任のカウンセラーへ業務委託をしており、毎週木曜日に相談室を開催しており、掲示板、及び学内 SNS での告知で案内している。	気軽な相談というものであり、相談内容を記録するという契約にはなっていない。 また、深刻な内容のものの場合には専門家の対応や専門の病院への案内をする場合もある。ZOOM を使用したオンラインにも対応しており、現状では十分な対応が出来ていると認識している。	学内相談室案内のカード
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	専任の部署を設置し、その部署での一括管理を行う。	ICC (インターナショナルコミュニティセンター) という部署を設置し、留学生に対するサポート全般を遂行している。	留学生の就職に際して、在留資格の変更が困難である場合がある。 在留資格取得基準の緩和が必要である。	組織図 業務分掌規程

中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
相談体制としては専任のカウンセラーへ委託して学校関係者には聞かれたくない、知られたくないという相談にも対応できる体制にしているが、基本的に学校、授業に関係した相談事が殆どであり、都度個別対応している。 また、クラブ活動も奨励しており、学生間、または学生-教職員間のコミュニケーションの一助になり、より学生との緊密な関係を構築することを期待している。	特にアーティスト (演者) として活動を希望する留学生の在留資格取得が難しく、日本国内での活動においては大きな障害である。 また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、文部科学省、東京都の要請に従いクラブ活動は大幅な制限を行った為、学生間、または学生-教職員間のコミュニケーションが例年と比較すると不足していたことは否めない。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	経済的支援として学費、及び奨学金の担当者を配置し、様々な事情による対応を行う。	<p>学校独自の奨学金制度としてイーエスピー学園卒業生・在校生兄弟姉妹特別奨学生という制度を整備している。</p> <p>また、減免は被災生徒等授業料等減免補助金の申請可能な場合に対応する事としている。</p> <p>さらに現状で年間2期での分納が認められているが、やむを得ない場合(ローン等申込が不承認等)に更なる分割も条件付き特例で認める場合がある。</p> <p>条件付き特例で認める分割以外についてはホームページ、掲示板等で告知し、経済面での質問は専任の職員によって一括管理されている。</p>	<p>家庭の経済事情を考慮して様々な対応を行っているが、どうしても厳しいという状況もあり、やむを得ず退学という場合も不本意ながらある。</p> <p>今年度からは修学支援新制度による給付型奨学金、及び学費減免制度の利用が出来るようになり、昨年度と比較して退学者数は減少傾向にあることから、修学支援新制度を利用できることの効果により、経済的理由による退学者は減少しているものと思われる。</p>	業務分掌規程 学校ホームページ 学校パンフレット
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	保健計画に定める範囲、及び講義内での健康管理について指導する。	<p>保健計画を定め、日常の健康管理は講義内でも社会人としての健康管理として触れて、指導している。</p> <p>常設の保健室を整備し、利用可能なスペースは確保してある。</p> <p>また、学校医として外部医院の医師を選任し、委託している。</p>	課題は特になし。	学校保健・安全管理計画 定期健診実施要項

5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	提携している学生寮運営会社により委託されている管理人がおり、それによって支援体制は整備されていると認識している。	学生寮の設置自体はしてないが、学生寮の運営をしている複数の会社と提携し、整備されている状態としている。	課題は特になし。	東京生活（学生寮案内）
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	課外活動としてのクラブ活動の奨励、支援を行っており、必要と思われる費用も事前に予算申請することで、審査・承認後に予算化され、活動費として使用できる体制としている。 また、学生の学外ライブ活動等様々なサポートを行う。	クラブ活動には必ず教職員が顧問となり、活動状況の把握に努めている。また、発表会等も行っており、随時教職員が引率し、管理している。 また、学外での活動サポートとして、学外のライブハウスを定期的に借りてライブイベントを企画・開催し、その際に発生したチケット代は参加バンドへ100%還元している。	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、クラブ活動については制限を余儀なくされた。 また、学外のライブハウスを借りたライブイベントも無観客で行い、オンライン配信とした。 来年度も引き続き徹底した感染対策を行った上で各活動を行う事を検討。	学校パンフレット 学校ホームページ Brand New Way ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生生活を送るにあたり必要な支援体制は整備されていると認識している。また、経済面での支援はセンシティブな問題でもあるため、細心の注意が必要である。</p> <p>来年度からは修学支援新制度の利用が可能となったため、業務の繁雑化が見込まれるが、人員を増加して対応するよう、体制を整えたこともあり、大過なく処理することが出来た。</p>	<p>エンタテインメントの専門学校であるので、通常の学生サポートの他、主にエンタテインメント関係のサポートが手厚い傾向である。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	基本的に個別対応を行う体制としており、それによって細やかな要望等に対応する事を可能とする。	保護者会等は組織していないが、教育活動に関する情報は期末に行われる試験の個別成績発送の際に共有し、保護者と連携した指導を行う。 また、保護者の方が直接来校された際には学科責任者及びそれに準ずる者が対応している。 緊急時には情報管理システムに登録されている情報から保護者の方へ個別に連絡する。	課題は特になし。	保護者宛て発送資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全国から集まる学生たちの保護者の保護者会の開催は現実的ではなく、また参加できる保護者とできない保護者との格差が生まれてしまう懸念があるため、基本的には保護者会を組織する予定はない。 保護者との連携はあくまで個別の学生の諸問題に対して行われるべきであり、その環境整備は行われていると認識している。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	学生との緊密な関係を築き、卒業後もそれを維持していく方針である。	同窓会等は組織していないが、デビューサポートセクション、キャリアサポートセクションを卒業後も活用できる。	卒業後もデビュー情報の提供を希望する人は、事前にデビューサポートセクションに登録することで、デビュー（オーディション）情報をメルマガ配信している。	学校ホームページ 学校パンフレット
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	取り組んでおらず、今後行う予定はない。	現状は行っていない。	授業時、及び空き教室はレンタルスタジオとして使用しており、卒業後のプログラムを組む余地は現状無い。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人学生を受け入れることは現状想定しておらず、今後この方針に変更はない。	社会人経験者の入学は問題ないが、働きながら履修できる体制は取っていない。	時折、社会人学生としての問い合わせもあるが、当校ではそのような体制の整備はされておらず、対応可能な他校へとアナウンスしている。	学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>卒業生との関わりは今後も継続的に行われるべきであるが、過剰な干渉をすると他の卒業生との不公平も生じてしまうため、あくまで卒業生からアクセスがあった場合に対応するに留めている。</p> <p>当校は一定水準の汎用的な能力と専門性を持った学生の輩出を目的としているが、基本的に学外での活動を奨励しており、資格取得やキャリアアップは相談があった場合を除き、個人の裁量に委ねている。</p> <p>また教育課程編成上、学外生向けの講座を設ける枠がなく、現状では行う予定はない。</p>	<p>当校の方針として学生との緊密な関係を築き、維持すること、そして卒業後もデビューサポート、キャリアサポートセクションの利用が可能であることから、卒業後にも来校する卒業生が多く、そこから業界の最新情報やオーディション・就職情報が入ってくることもある。</p>

最終更新日付

2022年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育上必要な設備は整備されており、法令上の基準は満たしています。また、前項でも記載しましたが、卒業生も学校の施設利用が可能です。学外実習等は教育課程上の明確な位置づけを行ってはおりませんが、事前に担当講師、または学科教務に申し出るによって出席扱いとなるよう計らっています。</p> <p>防犯、防災等安全に関わる事案はマニュアル等規程を策定しており、学生の生命の安全を第一に考えております。</p>	<p>当校の施設・設備はエンタテインメント業界における一般的な機材からプロも驚く最新・高性能の設備まで揃えられており、非常に充実していると認識しております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大への対応として教室の収容定員を見直しましたが、新たに教室を増設することで実員への対応を可能としました。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	法令上での基準を満たした施設・設備を整備する。	各学科、各コースにおける必要な設備等は整備されており、法令上の基準は満たされている。 また、前項でも記載したが、卒業生にも施設利用を可能としている。	技術は日進月歩であり、設備も同様であるため、その対応に遅れることが無いよう計っていく。 今年度は小型のホールを想定した施設を設置し、そのような現場を想定した経験を積める機会を増加した。 また、教室の増加を行い、3密回避等の感染対策について対応した。	学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備は最新・高性能な機材を整備し、学生が学びたいことに対応でき、また学ぶ意欲の向上につながるよう計っている。	エンタテインメント業界でも最新・高性能な機材を導入し、どの現場でも対応可能な能力を身に付けられる環境としている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習そのものを単位化等、教育課程上では特に整備はしていないが、当校では学外活動を奨励していることから、事前に申請をすることで出席扱いとすることが可能である。	早期入社、及び学外実習等は、事前の申告、及び事後のレポート提出等にて出席扱いとしている。 また、海外研修プログラムも設定しており、参加期間中は出席扱いとなる。	インターンシップを教育課程上に位置付けることは、実施が難しい学科もあり、統一的に教育課程編成に反映することはしていない。 個別に早期入社や、学外実習と認められるものについては、左記の通りに対応している。	学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状では学外実習等を奨励している関係上、事前の申請、及び事後のレポート提出等で出席扱いとして対応している。	授業の成果を発揮する学外での実地研修や、ハリウッドへの海外研修旅行、工場見学ツアーなどあり、エンタテインメント業界との緊密な関係によって実施されている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	防災計画、消防計画、及び災害対応マニュアル等を整備し、有事の際に被害の最小化に努める。	各種計画、マニュアルは整備されている。 各校舎等も耐震化に対応済みであり、消防設備の保守点検を法令に基づき行っている。	防災計画、及び関連マニュアルの整備はされているが、リーガルチェックを経していないものもあり、正式版の作成を行っている。教職員及び学生への周知は正式版完成後に行う予定。	防災計画、消防計画 災害対応マニュアル
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	学校安全計画、及び関連マニュアルを整備し、有事の際に的確に対処できるよう整備する。	学校安全計画を保健計画と並行して策定（学校保健・安全管理マニュアル）しており、運用している。 また、防犯マニュアルを策定しており、教職員への周知徹底が必要である。	学校安全計画、及び関連マニュアルは整備してはいるが、リーガルチェックを経していないものもあり、正式版の作成を行っている。教職員及び学生への周知は正式版完成後に行う予定。	学校保健・安全管理計画 学校危機管理マニュアル 防犯マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校として必要な規程の整備はされてはいたが、リーガルチェックを経していないものもあり、また作成されてから時が経っていることもあり、現在正式版の作成を行っている。教職員、及び学生への周知は正式版完成後に行う予定です。	本学の施設は全て耐震化されており、有事の際には基本的に学内施設に留まり、学生、教職員の安全を確保する。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集は SNS の活用や、ホームページからのアクセス等、電子媒体を主軸に置きながら、地方ガイダンス等対面での説明による来校者、入学者も依然として多く、どちらかに偏重するでもなく、適切な割合で行われていると認識しております。</p> <p>入学選考基準は明確化されており、全データは毎年度蓄積を行っています。</p> <p>学納金データも算定内容、決定過程を明確にしており、学則変更の際に明示済みです。</p>	<p>アドミッションポリシー:「エンタテインメント業界で活躍する夢の実現をめざし、目的意識と熱意を持って学ぶ意欲のある者」としています。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	進路説明会において情報拡散に努めるべきと考える。	全国の進路説明会に参加し、情報提供を行っている。 また、出張メンテナンス・リペア等も行い、そこでの情報拡散も見込まれる。 軽音連盟とも連携しており、イベントの際には協力し、その際に情報提供を行っている。	コロナ禍において、可能な限り各ガイダンスに参加し、去年よりは多くの進学希望者と接触することが出来た。また、出張メンテナンス等は行うことが出来ず、やはりコロナ禍前と比較すると情報拡散が不十分であることは否めない。	募集要項、学校ホームページ、学校パンフレット
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	当校に関わる各情報はホームページ上で公開されており、入学対象者へ募集状況のお知らせ等を行うことで応募可能であることを周知する。	当校においては4月入学のみであり、それに向けた願書受付としてAO入試、推薦入試、一般入試を実施している。 また、学生募集活動における情報管理も法人全体で導入しているシステムによって一括管理されている。 また、オープンキャンパスは毎月行われており、その中で遠方から来校が難しい志願者に対しての対応も行っている。	どの時期に行うのが学生が来校し易く、効果的であるか、随時検討していく。 また、1都3県以外の学生へ交通費のサポートも行っており、来校する学生の来校促進を図っている。 資料請求者向けに LINE 公式アカウントを利用した情報提供も行っている。	募集要項、学校ホームページ、学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集において、メインは高校生であり、現在の高校生のメインツールであるスマートフォンに対応したSNS、ホームページの充実、分かり易さが重要である。 また、高校2年生の終盤で既に進路を固めている高校生が多いので、夏のオープンキャンパスが非常に重要なファクターであると分析している。	進学希望者は学校の雰囲気や設備、授業内容などを実際に体験した上で進路決定を行う事を希望しているため、コロナ禍においても感染対策を徹底し、感染リスクがない状態で迎えらるよう、図っていく。

最終更新日付

2022年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準は学則によって規定し、公平性を確保した運用をすべきと考える。	入学選考基準、方法は学則に明記されている。 合否判定体制は適宜学科責任者、教務部長間で行われる。	現場と高校生をマッチングさせることがこれまで以上に困難になっている。入学時(AO入学)の面接などで本校に適応出来るかなど見極める必要性を感じている。	学則 募集要項 学校ホームページ 学校パンフレット
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	合格者、辞退者数等の数値に関することは常時蓄積し、全体へ共有されるべきと考える。	合格率、辞退率のデータは毎年蓄積し、管理されている。 また、入学者数のデータは使用教室の割り振りに活用している。 企画広報課の接触人数は随時共有し、入学者数の予測を行っている。	入学者の傾向分析については、パンフレットやオープンキャンパスによって本校で学んでいくことを決めた人たちが入学していることから、現状特に行っていない。 今後入学者に対するアンケート等において、そのデータ活用の有無、実施について検討する。	AOエントリー／出願集計表

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
AO入試、推薦入学の受け入れは都の通知に従い募集定員の70%以内としており、AO、推薦それぞれの想定定数まで達した場合、AO入試はエントリーの段階で受付を締め切っており、推薦も出願数が定数まで達した場合、受付を締め切っている。 募集定員も学則での届け出の通り、法令に則って設定している。	入学選考はAO、推薦、一般の3方式で行われるが、全てにおいて「やる気」が重要であり、また、「やる気」がなければ出願もされないもので、身体的に問題がなく、入学要件を満たしていれば基本的には合格としている。 しかし、事前に授業についていくことが厳しいことが予め判明している、他学生の授業の妨害となる可能性が高い等の場合については不合格とすることがある。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	不必要に高額な学費とならないよう、経費内容から算定して設定される。	学納金の算定内容、決定過程は明確にし、学則変更、及び学納金変更申請時に提出している。 学校パンフレット、募集要項、ホームページ等に学納金等徴収する金額は明記している。 また、学納金の水準は適宜把握に努めている。	課題は特になし。	学則 学納金算定資料
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	文部科学省通知の趣旨に基づいて適宜対処する。	入学辞退者に対して、年度開始前までにその意思を示した場合には、入学金を除く学費を返金する旨を募集要項、及び入学金等納入のご案内にて周知している。	課題は特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金については非常にセンシティブな問題であるため、特に注意を払って算定している。 また、支払う学納金に相応しい教育課程となるよう、継続的に検討を行っている。	全学科共通で1年次には入学金 20 万円、授業料 60 万円、実習費 30 万円、施設費 40 万円、合計 150 万円。 2.3 年次には上記から入学金を除いた 130 万円が年間の学納金であり、当校の教材費、施設利用費、研修費等は全て学納金に含まれている。 (ただし、希望者のみ参加する研修旅行は別途費用が必要となる)

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	野永 幸恵
--------	----------------	-------	-------

基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中長期的な考えを基に社会環境の変化、及び音楽環境の変化に対応するように、教育環境を整えていくことが、安定した入学者数につながり財務の安定性も確保できると認識しています。</p> <p>現在、財務状況は学校法人全体でとらえると概ね健全な状況にあります。福岡校開校（平成 30 年 4 月）にあたり借入金が増加したが、生徒数も確保でき計画通り 6 年間で返済予定です。</p> <p>少子化が進み激しい環境と共に、コロナ禍において教育のスタイルが変化していることも考えに入れ、中長期的に設備投資を考え、それを基に単年度予算を作成し実施していくことで教育環境を整えていきたいと考えております。</p> <p>財務情報の公開については、学校法人会計基準に準拠した形式によりホームページ等に公開を行って参ります。</p>	<p>音楽環境の変化は今までになく早いスピードで変化しています。計画的に設備の入替を行い、新しい音楽シーンに対応できる人材を育てていきたい。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続する年度となりましたが、感染拡大防止を行いながら出来るだけ対面授業を行い、学生満足度向上のための学校運営を行いました。</p>

最終更新日付	2022 年 3 月 1 日	記載責任者	亀田 秀幸
--------	----------------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	18歳人口の減少といった厳しい環境が予想されるが、中長期計画に基づき設備投資を行い、教育環境の充実と生徒数確保により財務基盤を安定に保っていく。	校舎、教室、設備など老朽化が進んでいる箇所を優先し、今後の教育活動に必要となる設備に改修又は、建替えを行っていく。	設備投資の規模により、中長期的な視点で自己資金、長期借入、リースなど資金の検討を行っていく。	過去3年間の ・資金収支計算書 ・事業活動収支計算書 ・貸借対照表 ・財産目録
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	財務分析を継続的に行うことにより、その推移を分析し財務基盤の安定にいかす。	主要な財務分析となる事業活動収支計算書関連比率、貸借対照表関連比率の分析を行っていく。	全国専門学校等の平均値、適正数値を調べる。	財務分析表 キャッシュフロー計算書 学校基本調査票

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的な考えを基に社会環境の変化、音楽環境の変化に対応するように、校舎、設備などへの投資を行い、教育環境を整えていくと共に財務基盤の安定を図っていく。	主な校舎については、大規模修繕に備え積立金を行っている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	亀田 秀幸
--------	-----------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	教育目標を中期事業計画として策定し、その単年度教育目標として単年度事業計画を策定していく。	予算編成については教育目標を土台に、各学科からの予算案を取りまとめ、各会の承認を得て決定している。	単年度予算作成に重点がおかれ、中期計画は形式的にならない様に注意していく。	当年度・前年度の予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	事業計画により予算を策定し、予算に基づき適正に執行していく。	予算作成を詳細に行うことにより、その執行も計画通り収まるようになってきた。 また、超過が見込まれる場合、予算計上されている予備費から、経理責任者を經由して理事長の承認を受けることで充当することが出来る。	課題は特になし。	経理規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本年度はコロナウイルス感染症拡大の影響が継続する年度となり、学内イベント、学外イベントの中止、広報活動の制限など引き続き行った為、予算計画を行なえない部分もあった。	年度予算については、延期していた校舎修繕など実施し、翌期以降の学生数増加につなげる。また、コロナ対策の設備、又消毒など対策用備品調達などを引き続き優先的に行った。 感染症拡大の防止はしているものの、安全の為学内イベント及び学外イベントなど中止にする場合が多かった。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	亀田 秀幸
--------	-----------	-------	-------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	寄附行為に基づき、監事による会計監査は適切に行っている。	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査が実施されている。 監査法人による外部監査は必要と認められる場合に実施する事とし、2021年度は行われていない。	監事による指摘事項はないが、指導助言を受けた場合はそれに従い、適正に行っていく。	監事による監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度ごとに監事による会計監査を実施しており、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実の指摘はない。	適正な計算書類の作成に努め、監事による監査を実地していく。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	亀田 秀幸
--------	-----------	-------	-------

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法第47条に基づき、適切に運用していく。 また学校法人の財務情報は公表されることが望ましい為、財務情報等公表規程を策定し、適宜実施していく。	私立学校法第47条に基づき、財産目録等を作成し、財務書情報公表規程の通りに本校ホームページにて公表している。	課題は特になし。	財務情報等公表規程 本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報の閲覧規程を廃止し、代わって財務情報公表規程を定め、私立学校法に基づき適切に運用していく。 財務情報公開は本校ホームページで公開している。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	亀田 秀幸
--------	-----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校として各種法令、施行規則、設置基準等様々な基準を満たす必要があり、それぞれの基準を全て網羅し、常時にチェックする必要があります。</p> <p>各学校のみならず、学校法人全体としてこれらに取り組み、抜けの無いよう体制の整備を継続して参ります。</p> <p>特に個人情報保護については現在の情報化社会における重要性と維持の難度が年々上昇しており、対応するべく規程も適宜修正しなければならないと認識しております。</p>	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国、省庁、都、区から様々な通達があったが、それらへの対応を適宜行いました。</p> <p>また、各規程でも新型コロナウイルス感染症への対策を追加する必要がある規程については、適宜更新しました。</p> <p>クラブ活動についても今年度は文部科学省、東京都からの通達により活動の制限を行う等、適宜対応しております。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	法令、設置基準、その他関連施行規則等を遵守し、適正な運営が行われなければならない。	学則改正は適宜所轄庁へ届出を行っており、各種規程、及びマニュアル等を法令に即した形で整備し、適切に運用している。	特になし。	学則改正の届出（最新版） 学則 ハラスメント防止規定

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令、設置基準等を遵守し、法令に関連する各種規程は整備され、適切に運用されている。	学校関係者評価委員会は法令上では努力義務ではあるが、修学支援新制度（給付型奨学金および学費の減免）の機関要件を満たすために、2019度より体制を整備し、実施している。 2020年9月に確認大学等として認可され、2021年4月から上記制度を利用可能となっており、今年度は初めて運用を開始。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報は各部署で扱う関係上、厳重に管理され対策には万全を期するべきである。	個人情報保護規程を整備し、適切に運用している。 また、管理システムは通常のインターネットからは隔離したネットワークを構築し、外部からのアクセス等に備えた危機管理を行っている。	確立したシステムにおいて運用されているため、課題は特になし。	個人情報保護規定 情報管理システム運用規定

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護は学校として万全を期するべきであり、規程に従い各部署運用されている。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	各科、各部門で行い、次年度以降の目標の指針とする。	各科、各部門担当者や評価委員で自己評価を行い、総務部長が精査している。	課題は特になし。	学則 自己評価報告書（本資料）
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	行った自己評価について、ホームページ等で広く公表する。	評価結果については財務帳票と併せてホームページで公表している。	課題は特になし。	寄附行為 学則 本校ホームページ
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価を行うよう、委員会、規程等整備する。	学校関係者評価委員会を2019年度設置し、以降毎年実施していく。	課題は特になし。	学校関係者評価委員会規程
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	いただいたご意見と、それに対する本校の対応についてホームページ公表することで、学校運営に対する透明性を高めるよう図っていく。	本校ホームページで公表している。	課題は特になし。	本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校評価の内、自己評価、学校関係者評価を実施し、毎年ホームページで公表している。	特になし。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	エンタテインメント業界で活躍したいという人に、広く当校のことを知っていただく機会を設けるべきである。	ホームページ、パンフレット等によって公開されている。 また、設立母体である㈱ESPの関連店舗等に資料を配置し、閲覧の機会増加に努めている。	より効率的に知っていただく機会を増やすよう、有力な媒体の検討を継続する。	学校ホームページ 学校パンフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校として教育情報を広く公表することは必要ではあるが、閲覧者が本当に求める情報なのか検討する必要がある。 また、学校側が伝えたい情報と、受け取る側が知りたい情報を整理し、分かり易い内容となるよう、努めなければならない。	エンタテインメント業界誌への情報掲載も行っている。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域貢献に関しては当校の特色を活かし、地域のお祭り等のイベントにおける照明・音響等の協力、また空き時間を利用した生演奏等、各種協力しております。</p> <p>また、近隣学校への楽器メンテナンスを授業の一環として行っております。</p> <p>国際交流に関して、ハリウッドへの研修旅行や、国際交流サークルでの活動等、学生の視野を広げるべく各プログラムやクラブ活動を奨励しています。</p> <p>また、今後、様々なクラブ活動を通じて日本人学生と留学生の交流を活発にするため、中・長期計画でも予算化してクラブ活動の奨励を行う予定です。</p> <p>学生ボランティアは特に奨励等しておりませんが、学園祭の模擬店の売上金を福祉事業へ寄付しています。</p>	<p>楽器メンテナンスを行う活動は当校の特色を活かしたものであり、この活動を通じてリペアに興味を持ってくれる高校生もおります。</p> <p>しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、左記イベントの殆どが実施されておらず、学生の安全性を確保することから、クラブ活動も一部休止等制限を行っている。</p> <p>また、学園祭も同様であり、今年度については殆ど社会貢献・地域貢献を行えていない状況です。</p>

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	地域貢献として近隣町内会等が主催するイベントへ協力等は金銭が発生しない、及び学校運営に影響がない範囲において積極的に地域貢献していくべきである。	業界における即戦力となるよう各種資格取得を奨励しており、資格取得によって地域のイベント等にも積極的に協力している。 また、時折全国の学校へ訪問楽器メンテナンスを行っており、簡単なお手入れの講習や本格的なリペアを行っている。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、今年度も左記について全て実施されていない。 来年度は状況から適宜実施するか検討する。	学校ホームページ、ホームページ掲載SNS
10-36-2 国際交流に取組んでいるか	提携姉妹校との連携プログラム等、国際化に対応するべく交流を深めていくべきである。	ハリウッドにある姉妹校との海外研修プログラムを整備している。 また、留学生同士の交流、日本人学生と留学生との交流の一助となるべく、国際交流サークル等、各種クラブ活動も奨励している。	上記と同じであり、更に来年度の実施は現段階において行わない予定である。 今後の状況の変化によっては再開を検討する。	学校ホームページ、学校パンフレット

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>在生も地域貢献をしつつ、現場を体験できるため、良いサイクルが出来ていると考える。</p> <p>また、ハリウッドにある提携姉妹校とのプログラムの充実を図り、当校だからこそ出来る本場の空気に触れる機会を、今後も継続して整備していく。</p>	<p>左記の通り、提携姉妹校とのプログラムがあり、エンタテインメントの本場であるハリウッドへの研修旅行や留学プログラムがある。</p> <p>しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響によってイベントが実施できない状況であり、来年度は状況から適宜実施するか検討する。</p> <p>また、ハリウッドへの研修旅行プログラムは状況を見て再開するか検討。</p>

最終更新日付

2022年3月1日

記載責任者

野永 幸恵

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	特にボランティア活動の奨励はせず、学生個人の裁量に任せざるべきと考えている。	学生個人のボランティア活動は特に奨励はしていないが、学校として地域イベントに協力している。 また、本校の管楽器リペア科において、管楽器の点検修理を行い、これをモザンビーク共和国寄贈する活動へ協力し、今年度同国ニャルンゴ全権公使より本校に表敬訪問をいただいた。	課題は特になし。	学校ホームページ掲載 SNS

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ボランティアはあくまで本人の自主性によるものであると認識しており、特に学校として奨励することはしていない。 しかし、授業の一環として近隣の学校の楽器メンテナンスを行っており、前述の地域貢献を行っている。	一般的なボランティア活動ではないが、修得したスキルを活かした地域、社会貢献を行っている。 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施していないが、来年度は状況から適宜実施するか検討する。

最終更新日付	2022年3月1日	記載責任者	野永 幸恵
--------	-----------	-------	-------